



高齢者の入浴料と一般入浴券の料金の改定を計画どうり実施しました。

財政健全化計画における平成21年度中の効果計画額と実績額との比較

(単位：百万円)

項 目	効 果 額	
	計 画 額	実 績 額
町税等の歳入確保と負担の適正化	2	2

具体的な措置の実施状況

平成21年度決算に係る健全化判断比率は、すべて計画値より良い結果となりました。

財政健全化団体として、財政再建への新たな一歩を踏み出すこととなった洞爺湖町の平成21年度決算が確定しました。「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定では、各年度の決算との関係を明らかにした財政健全化計画の実施状況を議会に報告し、かつ、公表しなければならないとされています。計画初年度となる平成21年度の実施状況の概要をお知らせします。

財政健全化計画の 平成21年度実施状況を公表します

(1) 町税等の歳入確保と負担の適正化
高齢者入浴助成事業利用者負担金の改正
町は、町内に居住する70歳以上の高齢者が、町内の入浴施設を利用する場合に入浴料の一部を助成していますが、高齢者の利用者負担について改定を行いました。
改定前100円 → 改定後150円
一般入浴助成事業の使用料の改正
町は、町民が町内の入浴施設を利用する場合に入浴券を使用することができますが、この入浴券の発行を行っています。

(2) その他財政の早期健全化に必要な事項の措置の実施状況
検討事項のうち検討の結果実施したもの
議員報酬について、平成19年度から期末手当の20%削減を実施していますが、議員報酬等検討協議会の検討を経た上で、平成22年度について、更に報酬と期末手当の総額の10%相当額を期末手当から削減することとしました。
検討事項のうち引き続き検討するもの
保育所の統合の検討
町立洞爺高校のあり方についての検討

■ 健全化判断比率の状況

(単位：%)

年 度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成21年度 (第2年度)	平成22年度 (第3年度)	平成23年度 (第4年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値	計画値
健全化判断比率						
実質赤字比率	- (15.00)	- (15.00)	- (14.98)	- (15.00)	- (15.00)	- (15.00)
連結実質赤字比率	- (20.00)	- (20.00)	- (19.98)	- (20.00)	- (20.00)	- (20.00)
実質公債費比率	29.8 (25.0)	28.5 (25.0)	28.3 (25.0)	27.3 (25.0)	25.2 (25.0)	23.9 (25.0)
将来負担比率	240.3 (350.0)	212.1 (350.0)	198.4 (350.0)	221.7 (350.0)	212.5 (350.0)	204.1 (350.0)

各健全化判断比率の()内の数値は、早期健全化基準の数値です。

平成21年度以降の推計値については、現時点での見通しになりますが、9月議会の補正予算で計上した地方債の繰上償還を実施することにより、平成23年度決算としていた財政健全化団体からの脱却を、1年前倒して平成22年度決算で脱却できる見通しとなりました。